

⑭ 性機能障害

性交にかかわる機能がダメージを受けて
性交渉そのものが難しくなることがあります



原因

抗がん薬治療により、男性では精巣萎縮、無精子症、勃起障害
女性では卵巣機能低下、不妊、膣分泌物の減少などが起こる可能性があります
これらの影響は一時的または半永久的な場合があります、手術・放射線治療や
メンタルの影響でも生じることがあります

精巣機能に影響を及ぼす
抗がん薬治療（不妊症のリスク）

白血病への造血幹細胞移植の前処置
精巣腫瘍の治療 など

卵巣機能に影響を及ぼす
抗がん薬治療（不妊症のリスク）

白血病への造血幹細胞移植の前処置
乳がんの治療 など

出現の目安

抗がん薬による性機能障害のリスクは、薬の種類や投与期間、年齢で異なります
また、その回復においても個人差があります
心配な方や子どもをもつことを希望のある方は、治療前に医師や看護師に相談して
ください
☆参照「がんの治療と子どもをもつことについて」

医療者によく話しあう

医療者によく話し合しましょう

納得できないまま治療を
受けていると、不安の方が
大きくなってしまいます

医師から十分な説明を
受けて一緒に考えて行きましょう



コミュニケーションを大切に

パートナーや家族との
コミュニケーションを
大切にしましょう
性機能障害は自尊心に
影響を与えるため
互いの気持ちや悩みを
共有し、支え合うことが
大切です



副作用への対処

脱毛や皮膚障害などの副作用は
性欲や口内炎によって
「キスができない」など
スキンシップに影響を
与えることがあります

各症状に対する工夫を参考にし
困難な場合は医師や薬剤師
看護師に相談しましょう



感染症対策と避妊を徹底

治療中は感染症対策と避妊を徹底し
白血球や血小板が低下している時期や
抗がん薬成分が体液に含まれる期間
（投与後48時間）は性行為を避けましょう
また、治療中はコンドームを使用しましょう

ただし、生殖器官や膀胱、肛門、大腸に関連する
がんで、手術や放射線治療などの治療をして
いる場合などは、医師や看護師等に時期を
確認するようにしてください

ご連絡いただきたい
状況

悩みを抱えている方は、一人で悩まずに
当院のがん相談支援センターをご利用ください

TEL. 078-261-6711

平日（8:30～17:00）⇒ 各診療科が対応

時間外（17:00～翌8:30）及び土・日・祝日⇒ 救急外来が対応